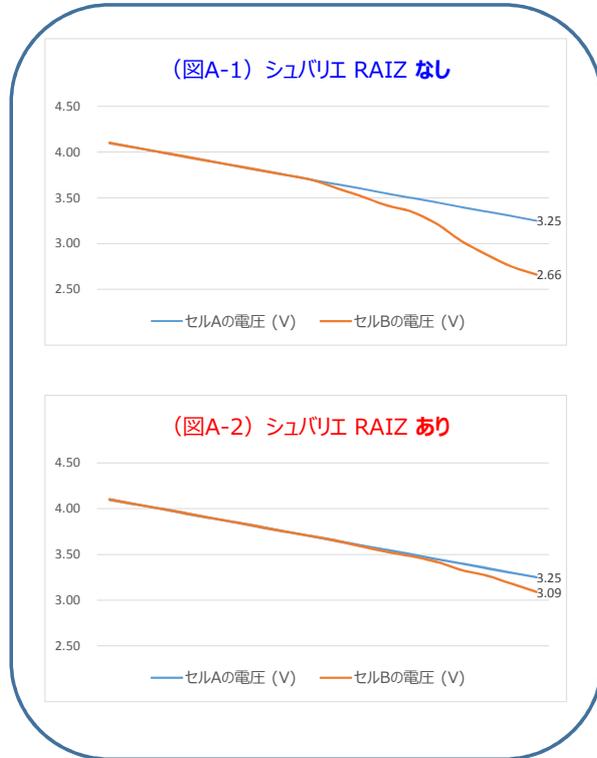


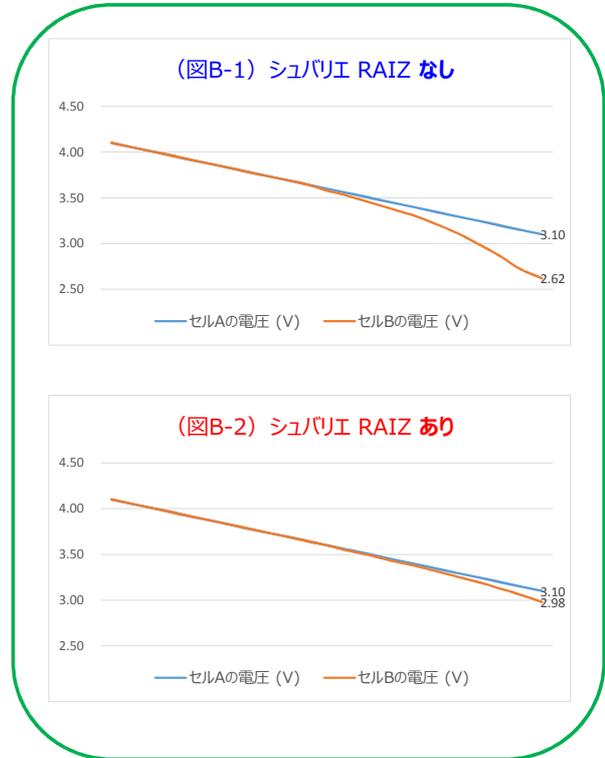
ACUVANCEがシュバリエRAIZ開発時に実際に測定したテストデータの一部を公開！！

シュバリエRAIZ搭載新機能【A.S.M.S.】によるセルバランス効果

BATTERY I



BATTERY II



これは、8.20V（各セル4.10V）までバランス充電をおこなったバッテリーの、走行中の電圧降下の様子です。
ここでは、使用年数や使用頻度の異なる2つのバッテリーについて、弊社で実際に計測したテストデータを公開しています。

シュバリエRAIZ搭載なし（図A-1・図B-1）の場合、どちらのバッテリーも3.7～3.6Vを下回った辺りから各セル間の電圧差が大きくなっていることがわかります。
※バッテリーの特性上、各セルに余程の個体差が無い限り、満充電（バランス充電）からしばらくはセル間の電圧差がほとんどみられず、放電が進み電圧が下がってくると電圧差が顕著に現れます。

しかし、シュバリエRAIZを搭載した場合（図A-2・図B-2）、各セルの電圧差がほとんどないまま電圧降下が進んでいます。
これが、シュバリエRAIZに初搭載の新機能【A.S.M.S.】のセルバランス効果です。

セルバランス効果による主なメリット

1. カット・オフ作動電圧付近で、一部のセルのみ電圧が下がり過ぎる過放電現象を低減し、バッテリーへの負担を軽減します。
2. 走行開始からカット・オフ作動まで、より安定したスロットルレスポンスを体感できます。

[重要] A.S.M.S.機能は、バランス充電されたバッテリーに対して最大の効果を発揮します！